

## 第 22 回皇后盃全日本女子柔道選手権大会 戦評 (平成 19 年 4 月 22 日 東京武道館)

### 【1 回戦】

中山彩香 優勢勝ち — 鳥谷部真弓

中山開始早々、組んですぐの小外刈で有効。中山、鳥谷部の背負投を崩して寝技にいくも不十分。

平井希 一本勝ち — 天野磨美

平井、天野の三角絞をきりかえして横四方固に抑えて一本勝ち。

今井優子 一本勝ち — 柿内沙弥香

柿内は、本大会最年少 18 歳高校チャンピオン。先日の選抜で五輪チャンピオン上野雅恵を破った、最近伸び盛りの今井。今井が内股で有効を奪い、そのまま横四方固に移行し一本勝ち。

今井の貫禄勝ちであった。

佐藤琴美 優勢勝ち — 宝寿栄

宝は本大会最軽量の 52 k g 151 c m、対する佐藤は 70 k g 170 c m の長身。

佐藤が動く宝を捕まえると、小外刈で有効を奪う。

試合時間残り 50 秒に、宝が組んですぐの朽木倒で有効を奪い追いつく。判定は、旗 3 本が佐藤に揃い、優勢勝ち。

### 【2 回戦】

塚田真希 一本勝ち — 近藤悦子

先日の選抜選手権 78 k g 覇者、五輪チャンピオン塚田は、積極的に前に出て行く。

初戦、慎重に試合を進める塚田。中盤、片襟をもつと見事な背負投で一本勝ち。

清水伊穂理 一本勝ち — 田中愛子

1 分過ぎに清水が谷落で一本勝ち。

田知本 愛 優勢勝ち — 岩田千絵

試合時間残り 1 分 20 秒、消極的な田知本に教育的指導。その直後、田知本が体を浴びせ有効を奪い優勢勝ち。

鳥居みかげ — 優勢勝ち 中山彩香

同体型の両者、互いに払腰、内股で攻めあうも、ともに効なく、時間。判定は中山に 3 本揃う。中山の優勢勝ち。

駒木奈緒美 優勢勝ち — 岡田紘味

互いに激しく攻めあうも決め手なく時間。判定は駒木に 3 本揃う。駒木の優勢勝ち。

上田真央 優勢勝ち — 白石のどか

開始1分、技を掛け合わない両者に、消極的指導。判定は、2対1で、上田の優勢勝ち。

風戸晴子 優勢勝ち — 小松崎弘子

互いに、攻めあうも決め手なく時間。判定は風戸に3本揃う。風戸の優勢勝ち。

山本志乃 — 優勢勝ち 平井希

互いに激しく攻めあうも決め手なく時間。判定は2対1で平井の優勢勝ち。

穴井さやか 優勢勝ち — 薪谷翠

伸び盛りの学生チャンピオン穴井とベテランの世界チャンピオン薪谷と対戦。開始から若い穴井が積極果敢に攻め込む。中盤、穴井の支釣込足に、薪谷が横倒しになる。薪谷、果敢に攻めるが穴井もふんばり時間。判定は3本穴井に揃う。穴井の優勢勝ち。

薪谷は精彩にかけており、後半息が上がっていた。

山下亜希 優勢勝ち — 川島巴瑠菜

互いに、攻めあうも決め手なく時間。判定は2対1で山下。山下の優勢勝ち。

七條芳美 優勢勝ち — 清水千晶

中澤の欠場のため急遽出場した七條。互いに、攻めあうも決め手なく時間。判定は2対1で七條。七條の優勢勝ち。

堀江久美子 優勢勝ち — 今井優子

互いに、内股、大腰で攻めあうも、決め手なし。中盤、堀江が小外刈で有効を奪う。堀江の優勢勝ち。

船越亜美 — 一本勝ち 石山麻弥

開始早々、石山が140kgの船越を背負投で技有を奪い、そのまま崩袈裟固で抑え込み、合せ技の一本勝ち。

馬籠恵子 優勢勝ち — 貝山仁美

互いに、激しく攻めあうも決め手なく時間。判定は3本馬籠に揃う。馬籠の優勢勝ち。

立山真衣 一本勝ち — 滝口並穂

本大会昨年2位、重量級学生チャンピオンの立山、序盤、軽量の滝口をつかまえきれず、両者に指導。中盤、滝口の体を浴びせ倒し技有り、そのまま袈裟固めで抑え込み、合せ技の一本勝ち。

**國原頼子 優勢勝ち — 佐藤琴美**

先日の選抜選手権 70kg 覇者の國原。中盤、同階級の佐藤が、國原の大内刈を返して有効を奪う。試合時間残り 30 秒、國原が小内巻込で技有を奪い逆転する。國原の優勢勝ち。

**【3回戦】**

**塚田真希 優勢勝ち—清水伊穂理**

塚田の圧力に、清水は防戦一方となり警告まで受ける。塚田も投げようと攻め立てるも果たさず時間。塚田の優勢勝ち。

**田知本愛 一本勝ち — 中山彩香**

1分過ぎ、中山の払腰を田知本が谷落に変化して有効。田知本の太外刈が豪快に決まって一本。

**駒木奈緒美 一本勝ち — 上田真央**

3分過ぎ、駒木の太外刈が技有。そのまま横四方に固めて合せ技の一本勝ち。

**風戸晴子 優勢勝ち — 平井希**

互いに激しく攻めあうも決め手なく時間。判定は 2 対 1 で風戸。風戸の優勢勝ち。

**穴井さやか 優勢勝ち — 山下亜希**

同体型の両者、激しく攻めあうも引き手、不十分で技の効なく時間。判定は 2 対 1 で穴井。穴井の優勢勝ち。

**七條芳美 — 優勢勝ち 堀江久美子**

序盤、両者組み合わせず指導。さらに堀江、豪快に内股決めるも場外。中盤、七條が組み合わせず、注意。堀江の優勢勝ち。

**石山麻弥 優勢勝ち — 馬籠恵子**

互いに激しく攻めあうも決め手なく時間。判定は石山に 3 本揃い。石山の優勢勝ち

**立山真衣 一本勝ち — 國原頼子**

試合開始早々、立山が支釣込足で有効、そのまま横四方固で抑えるも、14 秒で解ける。中盤、國原の小内巻込を立山がつぶして送襟絞から崩上四方固に移行すれば、絞めが効いて、國原はたまた「参った」の合図。立山の一本勝ち。

#### 【4回戦】

塚田真希 優勢勝ち — 田知本愛

成長著しい若手の田知本、女王塚田の柔道に怯まず攻める。一方、塚田は、慎重に試合を進め、奥襟をもって大外刈で攻めるも決まらず。後半、実力に優る塚田が優位に試合を進める。判定は3本塚田に揃う。塚田の優勢勝ち。

駒木奈緒美 優勢勝ち — 風戸晴子

駒木、試合開始早々から果敢に攻め、払巻込で技有を奪う。その後も、駒木が小外刈で有効を追加し、優位に試合を進める。中盤、駒木の背負投が有効。終始優位に試合を進めた駒木の優勢勝ち。

穴井さやか — 優勢勝ち 堀江久美子

同階級同士の対戦。優勝候補薪谷を初戦で破り、勢いのある穴井が、果敢にせめるも、ベテラン堀江が得意に大腰で応戦。判定は、3本堀江に揃い、堀江の優勢勝ち。

石山麻弥 — 優勢勝ち 立山真衣

立山、果敢に攻めるも組み手不十分で技の効なし。中盤、石山が積極的に攻めず教育的指導を受ける。その直後、立山の内股が有効。立山がさらに攻めれば、石山が消極的柔道で指導を受ける。立山の優勢勝ち。

#### 【準決勝戦】

塚田真希 一本勝ち — 駒木奈緒美

序盤から激しく互いに攻めあうが、塚田の浮落で貫禄の一本勝ち。

堀江久美子 一本勝ち — 立山真衣

立山の太外刈で、両者がもつれて倒れたところ、堀江が一瞬の隙を衝いて、送襟絞にいけば、立山落ちる。堀江の一本勝ち。

#### 【決勝戦】

塚田真希 優勢勝ち — 堀江久美子

6連覇をかけた塚田、序盤から慎重に試合を進める。初優勝をねらう堀江は、試合巧者らしく組み手で塚田を翻弄させる。中盤、両者に教育的指導。塚田、果敢に技を仕掛け、堀江に指導。その後塚田が有利に試合を進めるも時間。判定は3本塚田に揃い、塚田の優勢勝ち。史上2人目の6連覇の偉業を成し遂げた。

(執筆：春日井淳夫、溝口紀子)